

ストロビルリン系殺菌剤（QoI剤）耐性イネいもち 病菌の発生について

県内の一部地域でストロビルリン系殺菌剤〔以下QoI（キューオーアイ）剤〕に対して、耐性を示すイネいもち病菌の発生が確認されました。

（1）岡山県内における状況

- ・ 本年 7 月に県中北部の 3 か所において、QoI 剤の一つである嵐箱粒剤（成分名：オリサストロビン）を使用したにも関わらず、本田においていもち病（葉いもち）が多発生した事例が確認されました。
- ・ これらの圃場から岡山県病害虫防除所が採集したサンプルについて、岡山県農林水産総合センター農業研究所がいもち病菌のオリサストロビンに対する感受性を寒天平板希釈法で検定した結果、3 か所とも耐性と判断される菌が確認されました。

（2）防除対策

〔本年度の対策〕

- ・ QoI 剤を使用したにも関わらず、葉いもちが発生した場合は、穂いもちの多発生に備えて直ちに他系統の薬剤を用いて防除する（植物防疫情報第 2 号参照）。
- ・ QoI 剤の防除効果の低下が確認されていない地域においても、QoI 剤の使用は年 1 回のみとするなど適切な防除対策を徹底する。

〔今後の対策〕

- ・ QoI 剤の防除効果の低下が疑われる場合は、速やかに病害虫防除所または農業普及指導センターへご連絡ください。

なお、農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。